6

の起る事明かなるを有り是れ大倉一会社のみにあらずして一般平民家零大問題として大いに研究を要する者なり

千九百二十年八月二十四日九時、

法人 財團協調會

1

大倉牛乳株式会社罷工短評、

天下牛乳配達夫は雨が降らうが雪が降らうが風が吹かうが又自己方体が少し位の病気では何処の営業者でも休ませない、午後は二時頃から八時頃迄、朝は三時頃から八時又九時頃迄、掃除は多い者は七十円から百円位少ない者は四十円三十円位、各中税の者もある、配達時間は極少ない者で朝三時間半夕四時間、但し食料は会社持ち、朝は汁と飯と沢庵漬、書は飯に沢庵、夕は飯に沢庵と外に惣菜、一品、寝木貸宿より残酷である置一枚に一人は木貸宿の取締り規則にもあるのだが大倉では置一枚に一人半夏冬風の吹通しよい

財團協調會